

令和四年度

奥の細道矢立初めの地

子ども俳句相撲大会 句集



桃太郎

香蝶楼

主催 荒川区

荒川区教育委員会

日程 令和五年三月実施

名所にちる景

子句
天は

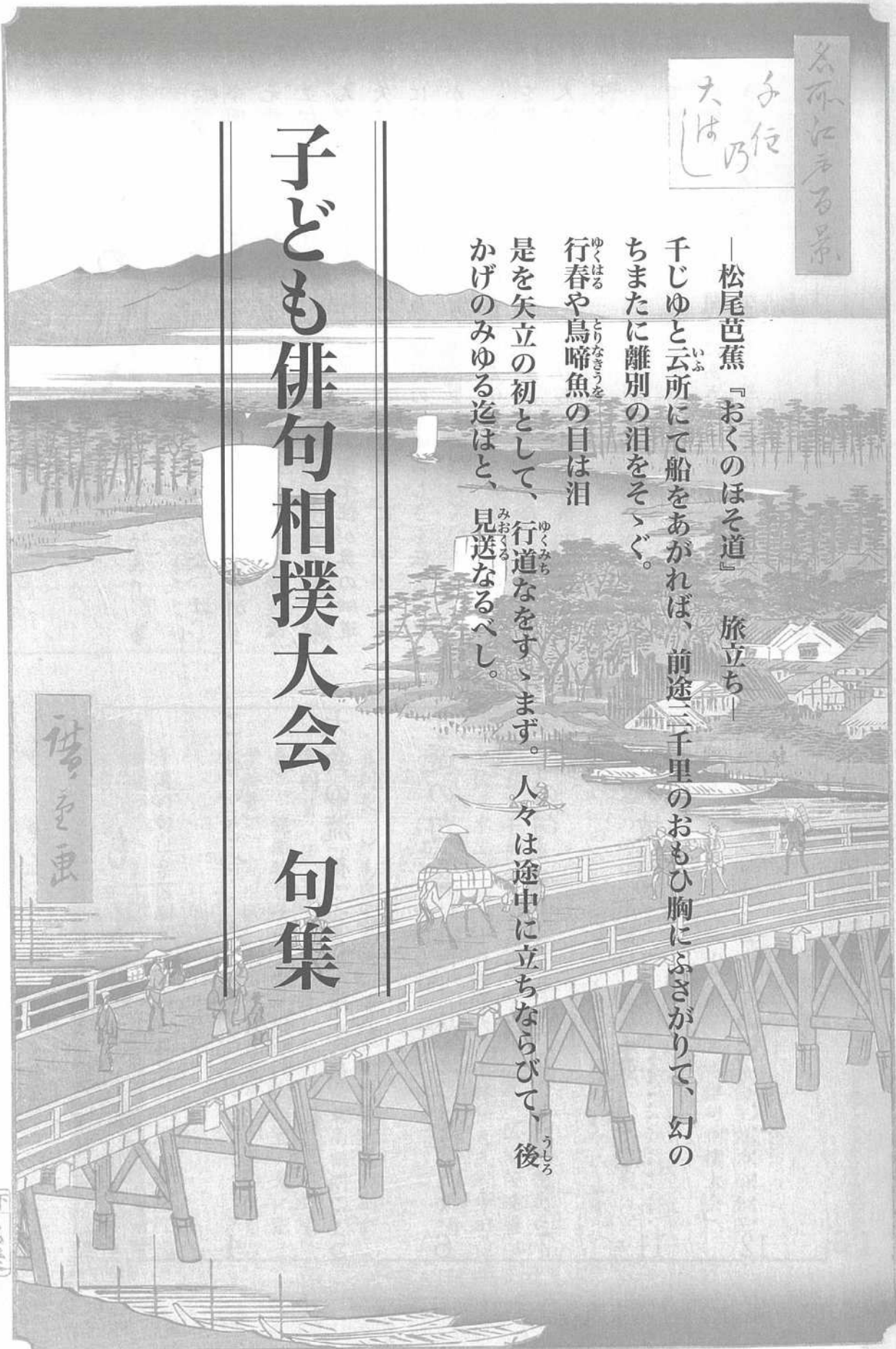
—松尾芭蕉『おくのほそ道』 旅立ち—

千じゆと云所にて船をあがれば、前途千里のおもひ胸にふさがりて、幻のちまたに離別の泪をそそぐ。

行春や鳥啼魚の目は泪

是を矢立の初として、行道なをすまらず。人々は途中に立ちならびて、後かげのみゆる迄はと、見送なるべし。

子ども俳句相撲大会 句集



俳句を重

谷下 魚栄

ごあいさつ

「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」は、今回で十四回目を迎えます。この大会は、松尾芭蕉が、元禄二年（一六八九）三月に奥の細道に旅立つ際、矢立初めの句「行く春や鳥啼魚の目は泪」を南千住で詠んだことにちなんで誕生しました。南千住が奥の細道矢立初めの地であることを広めるとともに、子ども達に日本の伝統文化である俳句の素晴らしさを伝え、豊かな感性と表現力を育むことを目的としています。今年度も予選を勝ち抜いた子どもたちに、春の訪れを感じる決勝句と絵を描いた作品を届けてもらいました。小学生俳人たちの個性と魅力があふれる句集をお楽しみください。

また上位入賞チームのパフォーマンスは、後日動画を配信いたします。ぜひご覧ください。

結びに、本大会の開催にあたりましてご協力いただきました関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

令和五年三月 荒川区 荒川区教育委員会



大会の流れ

予選

二人一組で1チームを作り一人一句の俳句を作成。応募があった121チームの中から12チームが決勝に進出

決勝

予選を勝ち進んだ12チームによる決勝。横造紙に書いた俳句作品を、審判員の点数の合計で判定。横綱（優勝）、東大関（準優勝）、西大関（三位）、関脇（四位）、小结・殊勲賞・敢闘賞・技能賞等があり、審判長・審判の審査により決定

もくじ

- ごあいさつ・もくじ……………4
- 大会の流れ……………5
- 予選の句……………6
- 決勝の句……………7
- 総評・披講……………11
- 芭蕉さんへのご報告……………12
- 荒川区俳句のまち宣言……………13

【例言】

- ・本誌は、令和五年（二〇二三）三月、荒川区・荒川区教育委員会主催により開催する「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」の句集です。
- ・本大会の句は、予選は「春の季節」、決勝戦は、「椿」「風車」の兼題をもとに作られています。
- ・本大会予選には、荒川区内の小学校十五校から計百二十一チームの応募があり、荒川区俳句連盟（佐々木忠利氏、小松孝子氏、寺田千賀子氏、竹野美恵子氏、田岡弥寿子氏、菅谷安男氏）によって選考が行われました。
- ・審判長 対馬康子先生（俳人、現代俳句協会副会長、俳誌『麦』会長、俳誌『天為』最高顧問）。
- ・審判員 佐々木忠利先生（荒川区俳句連盟会長）、能圓坊貴子氏（素盞雄神社権禰宜、文化室学芸員）、荒川区、荒川区教育委員会が務めました。
- ・予選の句は学区順、決勝の句は獲得点順（賞順）になっています。

予選の句

(順不同・学区順)

遠足だはやるワクワク止まらない

おされても負けずに向かう春疾風はるはやて

パワーチーム (第六瑞光小学校)

出来立てのたけのこはんホクホクと

チューリップ土をおし上げ顔を出す

しばいぬチーム (第六瑞光小学校)

風たこをあげ思いをこめて大空に

しゃぼん玉みんなの夢が青空に

仲良しこよし (第二峡田小学校)

せつぶんでこころのおにもおいはらう

春月夜はるつきよゆめを信じてつきすすむ

はいくよこづな (第九峡田小学校)

花いかだ夢と一緒に向こう岸

大空へ風切りながらとぶ燕つばめ

花の木 (第九峡田小学校)

入学式新たな未来の幕開く

しあわせな思い出いっぱい春の夜

かおののチーム (第九峡田小学校)

新学期これから始まるものがたり

かなしみと楽しさいっぱいさくらまう

リンカーン (尾久小学校)

クラスがえとなりがだれかきになるな

あおむしだつかまえないなこわいけど

さくらのお花見 (尾久西小学校)

ランドセル思い出背負せおい卒業す

たんぼぼが風にゆられてちつていく

TAILEN (尾久第六小学校)

ブランコはまっ青な空かんじるね

さくらさきおはなみしてもいいきせつ

春のさくら (第二日暮里小学校)

なみの音えがおあふれるしおひがり

春の月手を伸ばしてもとどこかない

A・Y (第六日暮里小学校)

桜草野原から来た恋文ラブレター

ピンク色踊り舞う花初桜はつざくら

サメっちー (第六日暮里小学校)

決勝の句

しばいぬチーム

荒川区立第六瑞光小学校

塩原 美波さん

石橋 明佳さん

【チーム名由来】どちらも名前に「し」と「ば」が入っているから

【意気込み】決勝に行きたいです



横網 (優勝)



審判長コメント

季語に心情がこもっています。はあーとついたため息に回る風車。それは作者を励まして回っています。また八重咲きの椿の花びらがほほえんでいるようです。横網おめでとう。

東大関 (準優勝)

パワーチーム

荒川区立第六瑞光小学校 「チーム名由来」パワーと元気
小林 正明さん 「意気込み」優勝めざしてがんばります
桜井 奏太さん

つばきがお目まいたいな通学路

風を受けて都電と競う風車

はいくよこづな

荒川区立第九峡田小学校 「チーム名由来」よこづなになるために
秋元 貴文さん 「意気込み」横づなのさをうばいとります！
杉山 漣さん

寒椿 打席の僕をみているよ

西大関

(三位)

散椿 レッドカーペット僕の道

関脇 (四位)

仲良しこよし

荒川区立第二峡田小学校 「チーム名由来」おきななじみですごく
岩本 琉花さん 仲が良いから
成田 あおいさん 「意気込み」横綱になれるようにがんばります！

空見げ 子供のほほは つばき色

風車 まわりだすまで 根比べ

小結

荒川区立尾久第六小学校 「チーム名由来」自分たちの名前
川上 泰誠さん をローマ字で書き、そこから
高橋 礼思さん 一文字をぬいた
「意気込み」入選めざすぞー！
(おー！)

TAILEN

風車 風とたわむれ 笑ってる

咲き誇れ、真赤に染まる 椿花

技能賞

リンカーン

荒川区立尾久小学校 「チーム名由来」自分たちの名前
本田 敢士さん をつなげた
小川 凛太郎さん 「意気込み」せいっぱいがんばります

曲がりかど春をむかえに椿落ち

風車野原でぼくと走り出す

敢闘賞

花の木

荒川区立第九峡田小学校 「チーム名由来」二人とも花の木
宮川 一歌さん 幼稚園にかよって、いたから
内山 柚香さん 「意気込み」一生懸命頑張ります

日は暮れて つばきのうしろ 月は照る

落ちてくる つばきと手をはす

殊勲賞

A・Y

荒川区立第六日暮里小学校 「チーム名由来」名前のかしら文
萩原 ゆうなさん 字をとってA・Y
小川 純佳さん 「意気込み」俳句を作るときにきこを思いうかべました

帰り道 二人で分け合う椿がな

風車 そよ風さんと遊ぼうよ

幕入賞

かおののチーム

荒川区立第九峡田小学校 【チーム名由来】名前からつけました
山下 夏央さん 【意気込み】優勝できるように頑張ります
吉田 望乃果さん



さくらのお花見

荒川区立尾久西小学校 【チーム名由来】お花見がすきだから
山口 大命さん 【意気込み】がんばります
長谷川 なずなさん



春のさくら

荒川区立第二日暮里小学校 【チーム名由来】はるがおだいだから
久松 恵理さん 【意気込み】ゆうしようにむかって
堀尾 紫衣さん がんばるぞ！



サメつちー

荒川区立第六日暮里小学校 【チーム名由来】二人のあだ名
山田 芽生さん (めつちとさつちー)を合わせた
今井 咲希さん 【意気込み】世界一になります



総評

審判長 対馬康子

新型コロナの世界的感染から3年が経ち、ようやく通常の生活に戻りつつあります。今年度も土俵の上一堂に会することはできませんでしたが、「俳句のまち」の元気な子供たちの作品にたくさんの希望を感じました。

決勝に進まれたチームの皆さんおめでとーございます。優勝したしばいぬチームは2句共に力強くまとまった作品でした。紙面いっぱいには彩られた短冊も素晴らしい。東大関のパワーチームは通学路と都電という場所によって日常の瞬間が上手に切り取られています。西大関のはいくよこづなはどちらも「僕」の存在が生き生きと伝わります。単に椿ではなく「寒椿」「散椿」としたところにバラエティがあります。関脇の仲良しこよしは、空を見上げた子供の頬が椿の色どはかわいらしい。また回らない風車を詠んだところが独自の発想です。

毎日の暮らしの中に俳句の心は育ちます。いっばい話をして、聞いて、言葉の冒険をしてください。575音の言葉で未来を作り出しましょう。来年の大会で元気に再会できますことを楽しみにしています。

披講

移ろいの丘駆け上がりさくららばな 対馬康子

絵馬鳴らす風に誘はれ梅白ふ 佐々木忠利

自註 春先に吹く冬の季節風の名残で、西風に絵馬が鳴る中で、受験生の願いや想い等を託した様に梅の匂いが境内に広がりを見せております。これが三月の湯島天神様の「梅まつり」の期間だった様々なイベントが行われ、多くの人が訪れるのですが、暫く梅の匂いの中から抜け出す事が出来ませんでした。

芭蕉さんへのご報告

松尾芭蕉が千住から旅立って、約百三十年後、文政三年（一八二〇）十月十二日の芭蕉忌に、千住大橋に程近い素盞雄神社に、千住の人々によって芭蕉の奥州への旅立ちを記念した松尾芭蕉の碑が建てられました。芭蕉の座像と「おくの細道」千住の一節が刻まれています。

子ども俳句相撲大会では、決勝戦用の俳句を素盞雄神社からいただいた木札に書いて、大会審判の先生方ともに、代表チームが松尾芭蕉の碑に報告しています。

報告した俳句の木札は素盞雄神社境内に飾られます。



松尾芭蕉の碑と俳句の木札

荒川区俳句のまち宣言

「行春や鳥啼魚の目は泪」

元禄2年3月この句を矢立初めの句として

松尾芭蕉はその生涯をかけ「奥の細道」へと旅立ちました

芭蕉が渡った千住大橋は江戸と東北の地を結び

私たちを俳句の世界へといざなう大橋として

昔もいまもこれからも隅田川に架かります

私たちの暮らすまちには人々が行き交い

芭蕉の想いと四季折々の美しさに導かれ

子規が一茶が山頭火がこの地で俳句を詠みました

「五・七・五」17文字の無限に広がる世界の中で

私たちは思いを伝える力を持ちます

新しいものを創りだす力を持ちます

世界中の人たちと心をつなぐ力を持ちます

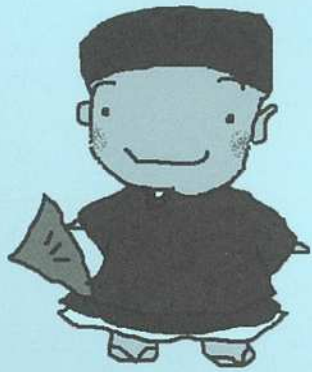
荒川区は

俳句の魅力を次代につなぐ架け橋として

子どもから大人まで俳句文化のすそ野をひろげ

豊かな俳句の心を未来に伝えることを誓い

「俳句のまちあらかわ」を宣言します



大会キャラクター「ばしょうくん」

奥の細道 矢立初めの地 千住あらかわ

表紙 相撲錦絵「桃太郎・怪童丸」(部分)香蝶楼豊国画(国立国会図書館蔵)
扉 名所江戸百景「千住の大はし」歌川広重(荒川ふるさと文化館蔵)
裏表紙 大会キャラクター「ばしょう君」

令和四年度 奥の細道矢立初めの地
子ども俳句相撲大会 句集

令和五年三月

編集 荒川区立荒川ふるさと文化館
〒一六〇〇〇三
荒川区南千住六―六三―一
TEL 〇三―三八〇七―九二三四
発行 荒川区・荒川区教育委員会
印刷 株式会社マステック
登録番号 (〇四)〇一一三号